

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
【三中てらこやの充実】 伝統の「三中てらこや」を即効性のある学力向上策として実施する。学力向上調査、各種検定をさらに基礎・基本の定着で検定合格実績を伸ばす。	【内容】 週2日、夜7:00～8:05 プリント学習コース、各種検定級別学習コースを実施する。教員志望の学生を採用し、チームで指導する。指導補助として保護者の参加を募る。 【目標】 数学では、学力調査で1年生の情報を読み取る、具体的な説明の弱点を補うため、意図的に関連問題に取り組ませる。英語では、場面に応じた英作文の向上に向け、基礎的の底上げとより高いリスニングを向上させ、学力調査の正答率を伸ばす。
【学校図書館学習・情報センター化推進】 学校図書館の授業活用を全教科での実施、数値目標の検証。書籍の整備等を積極的に行い、調べ学習等に活用する。	【内容】 学校図書館の学習センター化に向け、数値目標を掲げ、実践状況を進行管理しながら学力向上を図る。学力調査では、国語の書く能力、読む能力、漢字が課題であり、学校図書館授業の活用をこれまで以上に進める。 【目標】 授業活用を積極的に進め、下記の数値目標を達成する。学校図書館開館日を245日以上、学校図書館授業年250回以上とする。区の正答率の5%以上を目指す。
【タブレット PC、ICT 機器の授業活用】 タブレット PC の授業活用により、授業内容の充実・工夫改善を行う。電子教科書等の ICT 機器活用で授業改善を行う。	【内容】 学力調査の理科の活用が好結果であったことは、ジクソー活動の手法の成果と考えられる。今年度もタブレット PC を活用した授業に取り組むことでグループ協議や情報を正しく読み取る能力を育成する。 【目標】 教科指導におけるタブレット PC 使用率を前年度比で120%を目指す。電子教科書、ソフトの日常的な活用で授業改善に結びつける。タブレット PC の使用は週案に記録する。
【研究推進で授業力向上】 荒川区研究指定校「アクティブ・ラーニング」の研究を通じ、授業力向上を目指し学力向上へ結びつける。	【内容】 「基礎的・汎用的能力の育成を育むアクティブ・ラーニングの育成」を研究主題として授業改善に取り組む。学力調査の結果で見られる聞く項目、文章表現する力、自分の考えを表現する力を育成する。 【目標】 年間約30回の研究授業を実施し、学力向上に結びつく指導方法の在り方について研究する。先進的な実践研究を行う。学力調査の結果分析と授業改善の方向性をリンクさせる。
あらかわ寺子屋 「三中てらこや」の継続と放課後補習、長期休業中の補充教室拡大	【内容】 これまでも実施してきた「三中てらこや」の実施や長期休業中の補習授業、検定に向けた特別補習、放課後補習をより一層充実させていく。 【目標】 学力調査では、上位層、下位層がはっきりしており、充実した補習活動によりそれぞれの層のレベルアップを図る。「三中てらこや」については年間50日の実施を目指す。